

中学校
国語科
授業改善
事例Ⅱ

授業改善事例Ⅱ 学習指導計画編

第3学年

単元名「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」

（国語3 光村図書）

1 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(2)ア
 (2) 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。
 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ
 (3) 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。
 〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ
 (4) 言葉のもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
 「学びに向かう力、人間性等」

2 本単元における言語活動

複数の新聞広告の中から関心のあるものを選び、批評文を書く。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)	①「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ②「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	①粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。

4 指導と評価の計画（5時間）

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○単元の目標や計画をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○自分の考えを分かりやすく伝える文章にするために、どのような工夫をするとよいかを考える。 ○複数の新聞広告から、題材を選ぶ。		
2	○前時で選んだ題材について分析する観点を決める。 ○観点を基に、題材について分析し、自分の考えを明確にする。	〔知識・技能〕①	ワークシート
3	○文章の構成について、多様な読み手を説得できるような論理の展開を考える。 ○批評文の構成を考え、構成メモを作成する。	〔思考・判断・表現〕①	構成メモ
4	○構成メモを基に、批評文を下書きする。 ○同じ題材を選んだ生徒同士で下書き原稿を読み合い、相互に助言を行う。 ○助言を基に、批評文を推敲する。	〔思考・判断・表現〕②	下書き原稿
5	○批評文を清書し、ほかの題材を選んだ生徒同士で読み合い、相互に助言を行う。 ○読み手からの助言を基に、自分の批評文を評価する。 ○単元全体の学習を振り返る。	〔主体的に学習に取り組む態度〕①	推敲した文章、振り返りの記述（単元の計画表）

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○単元の目標や計画をつかみ、学習の見通しをもつ。 ○自分の考えを分かりやすく伝える文章にするために、どのような工夫をするとよいかを考える。 ○複数の新聞広告から、題材を選ぶ。	・二つの批評文のモデルを読み比べることで、自分の考えを分かりやすく伝える文章にするためには、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりする必要があるということに気付くことができるようにする。 ・複数の新聞広告を用意することで、生徒一人一人の興味や関心に応じて題材を選ぶことができるようにする。 ・題材を選んだ理由について記録するように伝え、次時の活動につなげることができるようにする。	本時は、B(1)アに基づいて学習状況を捉え指導を行うが、単元の目標としていないことから、本単元の評価には含めない。
2	○前時で選んだ題材と選んだ理由を全体で共有する。 ○前時で選んだ題材について分析する観点を決める。 ○観点を基に、題材について分析し、自分の考えを明確にする。	・友達の前時で選んだ題材と選んだ理由を聞いたあと、自分の題材を変更してもよいことを伝えることで、題材についての理解を深め、自分の考えを形成しやすい題材を選ぶことができるようにする。 ・題材を変更した生徒には変更した理由を記録するように伝え、次の活動の手掛かりにできるようにする。 ・同じ題材を選んだ生徒同士でグループを編成し、話し合いながら題材の特徴を書いた付箋を模造紙に貼って、比較したり関連付けたりするよう促すことで、題材について分析する観点を決めることができるようにする。 ・話し合いのあと、付箋を貼った模造紙を1人1台端末で撮影し、グループの中で共有するように伝える。 ・ワークシートに、模造紙の画像を見ながら観点ごとに付箋の内容を整理するよう促すことで、題材について分析し、自分の考えを明確にすることができるようにする。	【知識・技能】① ワークシート ・ここでは、複数の付箋の内容を基に観点を決め、その観点に沿って自分の考えを書いているかを確認する。
3	○文章の構成について、多様な読み手を説得できるような論理の展開を考える。 ○自分の考えをより分かりやすく伝えるためにふさわしい資料を選択する。	・批評文のモデルやその構成メモを提示することで、文章の構成が主張を導くための筋道の通った考えの進め方になるようにしたり、資料を適切に引用したりする必要があると気付くことができるようにする。 ・既習の教科書教材の中から題材の内容に関連するものを提示することで、引用する資料として選択できるようにする。	【思考・判断・表現】① 構成メモ ・ここでは、論理の展開を考える場合の基本となる組み立て方に気付き、自分の批評文で論理の展開を考えて、文章の構成を工夫しているかを確認する。

	○批評文の構成を考え、構成メモを作成する。 ○同じ題材を選んだ生徒同士で、構成メモを見て、相互に助言を行い、構成メモを修正する。	・前時のワークシートを基に、構成メモを作成することを伝える。その際、批評文のモデルやその構成メモを参考に促すことで、構成メモを作成することができるようにする。 ・構成メモについて助言する際の視点を示すことで、文章の構成や引用する資料について助言し合うことができるようにする。 【構成メモについて助言する際の視点】 ①論理の展開に飛躍がないか ②引用する資料が自分の考えの根拠としてふさわしいか	
4	○構成メモを基に、批評文を下書きする。 ○同じ題材を選んだ生徒同士で下書き原稿を読み合い、相互に助言を行う。 ○助言を基に、批評文を推敲する。	・ヒントを示した下書き用紙やヒントのない下書き用紙など、数種類の下書き用紙を準備することで、生徒が自分に合った下書き用紙を選択できるようにする。 ・批評文について助言する際の視点を示すことで、読み手が下書き原稿について助言できるようにする。 【批評文について助言する際の視点】 ①論理の展開に飛躍がないか ②表現の仕方は適切か ③引用する資料が自分の考えの根拠としてふさわしいか ・助言を基に、読み手の立場になって批評文を整えるように促す。	【思考・判断・表現】② 下書き原稿 ・ここでは、表現の仕方を考えたり、引用する資料が自分の考えの根拠としてふさわしいかどうか検討したりしているかを確認する（完成した批評文と併せて評価する）。
5	○批評文を清書し、ほかの題材を選んだ生徒同士で読み合い、相互に助言を行う。 ○読み手からの助言を基に、自分の批評文を評価する。 ○単元全体の学習を振り返る。	・前時と同じ助言する際の視点を示すことで、読み手が下書き原稿について助言できるようにする。 ・読み手からの助言を基に、助言する際の視点で評価するように促す。 ・振り返りの視点を示すことで、本単元で学んだことを、今後の学習でどのように生かしていくのかについて考えることができるようにする。 【振り返りの視点】 ①単元の目標を達成するために頑張ったこと ②単元で工夫しようとしたが十分ではなかったこと ③今回学んだことを、これからどのように生かしていくか	【主体的に学習に取り組む態度】① 推敲した文章、振り返りの記述（単元の計画表） ・表現の仕方を考えたり、引用する資料と自分の考えの関係についての記述を検討したりしようとしているかを確認する。